

# 第8回 スポーツフェスタ結果報告

【夏季】7月6日・7日 【秋季】10月13日～27日

## ●夏季スポーツフェスタ上位入賞チーム

種目	優勝	2位	MVP
フットサル	オシムJAPAN	北cu cumber	古澤 賢明
バレーボール(上級者)	封印されし裕司の左手	バリ坊's1	山下 圭介
バレーボール(初心者)	NGO	金平糖	該当なし
卓球	チーム総務員	チーム★木原犬	高倉 洋平

## ●秋季スポーツフェスタ上位入賞チーム

種目	優勝	2位	MVP
バレーボール(上級者)	封印されし裕司	YKKふざい	有吉 亮太
バレーボール(初心者)	超大型圭春	全日本	該当なし
卓球	HKT	チーム温泉卓球	
ソフトボール	トカゲターナズ	軟式一年	北村 優
バスケットボール	sugar	REPLAY-R	田中 裕貴
バドミントン	チーム総務員	オレ達不景気入組	石谷 翔輝

種目	総合優勝	総合2位	総合3位
体育祭	フットサル部	ハンドボール部	柔・剣道部

※今年度の体育祭は部活対抗で行ったため、上位入賞チームを表記している。



## 北九大で楽しく有意義な留学生生活を 短期留学生 秋の歓迎会

去る9月27日(金)、北九州市立大学厚生会館の2F学生ホールにて、海外からの留学生を迎える歓迎会が盛大に開かれました。本学は、世界11の国・地域、28大学1研究所と協定を結んでいますが、その中で学生交換制度を利用して来北したのは、クイーンズランド大学(豪)1名、カーディフ大学(英)3名、オックスフォード・ブルックス大学(英)8名、仁川大学校(韓)5名の留学生、計17名。国際教育交流センター長の挨拶のあと、留学生が一人ずつ覚えてた日本語を懸命に駆使して自己紹介を行い、たくさんの学生や先生方に大きな拍手で迎えられました。留学生の皆さんは来年夏までの1年間、本学での勉学や経験を通して将来に向けた糧を得たい、と様々な抱負を語ってくれました。



HOLTON Liam (21)  
[オックスフォード・ブルックス大学]

子どもの頃にポケモンを見て、とても面白いと感じたことが日本語を勉強することになったきっかけです。イギリスの大学でも日本語を専攻しており、北九州へ来る前には国際交流基金の制度を利用して6週間、関西国際センターで勉強してきたので、日本語はすいぶん上達したのではないのでしょうか。北九大での1年間では、日本の社会について様々なことを知りたい。また、茶道などの日本の伝統文化にも関心があるので、いろいろと触れる機会があればいいなと思っています。将来は日本で英語の先生になりたいと考えています。



李 恩京 (21)  
[仁川大学校]

韓国では日本語と経済を学んでいました。私は釜山出身ですが、釜山と北九州は近くて交流があるし、高校時代の先輩がこの大学に留学して日本語が上達した、と聞いたから、留学先に北九大を選びました。来日して驚いたのは、道がきれいで、みんな親切で優しいこと。自転車が多いことにもびっくりしましたね。日本語でのコミュニケーション力を上達させることはもちろんですが、スポーツなどのサークルに入ってみたくたい。日本はアジアで最も経済力がある国ですので、日本と韓国の経済交流をより発展させる仕事をしたいと思っています。



WILLIAMS Barry (21)  
[カーディフ大学]

カーディフ大学に入る前は4年ほど法律を勉強しましたが、大学ではビジネスと日本語を専攻しています。ビジネスコースは英国でも人気が高いのですが、卒業しても経験がなければ仕事につくことも難しいのです。北九大なら企業研修があり、東京と違って外国人が少ないので日本語が早く修得できるのではないかと考え、留学先を選びました。日本文化の中で関心を持っているのは、神道について。天照大神の物語などを勉強して、とても興味深く感じています。北九州で企業研修へ行くことを楽しみにしています。

# seiran vol.34

未来へ吹きわたる  
つよい風となれ

公立大学法人 北九州市立大学 学報

発行日/2013年12月6日 発行元/北九州市立大学広報入試課

# 青嵐

特集1: 大学祭「青嵐祭&響嵐祭レポート」

特集2: 北九州市立大学生生活協同組合

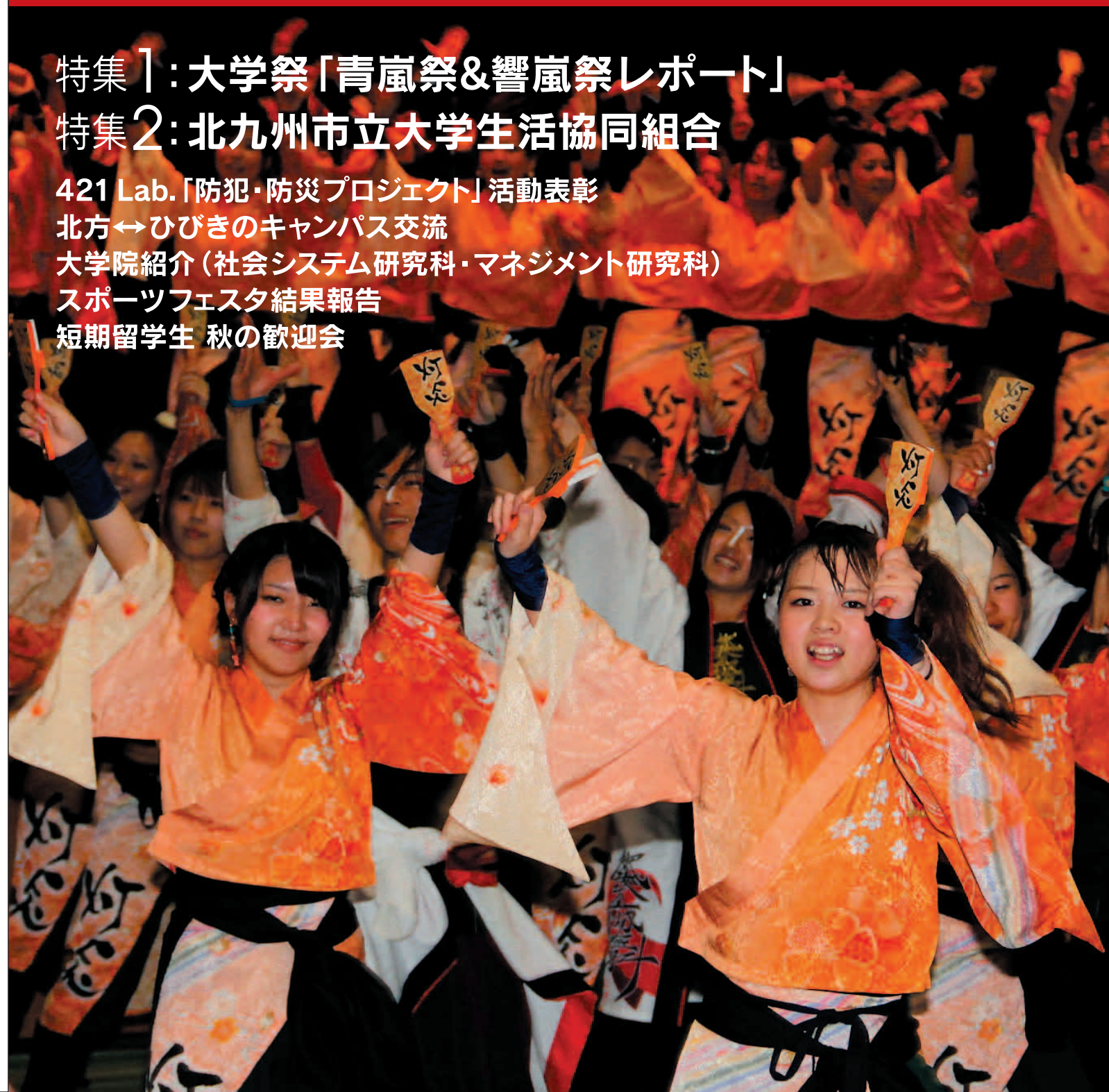
421 Lab.「防犯・防災プロジェクト」活動表彰

北方↔ひびきのキャンパス交流

大学院紹介(社会システム研究科・マネジメント研究科)

スポーツフェスタ結果報告

短期留学生 秋の歓迎会



# 楽しさ爆発！賑やかに、熱気溢れる 青嵐祭 & 響嵐祭レポート

香ばしい煙が会場のあちこちに立ち上り、大勢の老若男女が行き交うなか大音響のライブ演奏が響き渡る。2013年北九州市立大学大学祭が、北方キャンパス及びびびきのキャンパスで盛大に開催されました。北方キャンパスの「青嵐祭」では大学生のほか、高校生などの若者が多数集まり、中庭一帯に広がった模擬店を巡ってあれこれと舌鼓。ステージイベントに盛り上がり、趣向を凝らしたステージパフォーマンスに盛り上がっていました。一方、学術研究都市「びびきの祭」との同時開催だった「響嵐祭」では、ファミリー層や外国人の姿も多く見受けられ、笑顔が溢れるほのほとした雰囲気。ベトナム料理やブルコギなど模擬店料理も多国籍で、各キャンパスの持ち味が感じられました。両キャンパスとも会場には、缶・ビン・ペットボトル・割り箸はリサイクルできるよう、分別用のゴミ箱が設置されるほか、古着リユース（青嵐祭）、エコ容器使用（響嵐祭）など、北九州らしい環境への配慮もあり、学生も来場者も一体となって、秋の一大フェスティバルを満喫していました。



## 第67回 青嵐祭 Seiransai

- テーマ：彩暉(さいせい)～煌きの彼方へ～
- 日時：平成25年11月2日(土)～4日(月)
- 来場者数：約17,000人(昨年は約19,000人)
- 主な催し：Dancing Night Fever、よさこい公演、Who is the ONE～ミスターコン2013～、Ms.univ.～sweet princess story～、爆笑お笑いライブ(キンタロー。/チキチキジョニー)、IMALU Talk Show など
- 教室企画：不思議の国のハロウィンタウン、寄席(落語研究会)、ピアノ演奏会(ピアノ会)、写真展(写真部)など17企画
- 模擬店数：JAZZ研究会K&K(焼き鳥、酒)、沖縄県人会(沖縄そば、サターアングギー、酒)、会計学研究会(リンゴ飴、ブドウ飴)など88店舗
- 大学祭実行委員会メンバー数：120名



## 第11回 響嵐祭 Kyoransai

- テーマ：響嵐祭なう。～この瞬間を永遠に～
- 日時：平成25年11月9日(土)～10日(日)
- 来場者数：約12,000人(昨年は約11,000人)
- 主な催し：お化け屋敷、筋肉コンテスト、LIVE LIVE LIVE、Dancing forever、びびきの総選挙、爆笑無料お笑いライブ(TKO、アルミカン、笑い飯、レモンティー)、ビンゴ大会など
- デコレーション企画：廃油でキャンドル、光のオブジェ、ペットボトルキャップアート、階段アート等
- 模擬店数：建築3年(わたがし、パスタ)、プラスバンドサークル(チョコバナナ)、S棟3階の住民(チヂミ、フライドポテト)など47店舗
- 大学祭実行委員会メンバー数：163名



## 北九州市立大学大学祭 実行委員会委員長への Q&A

「1年間、お疲れ様でした！」  
大学祭のすべてを取り仕切る、  
縁の下の力持ち



第67回青嵐祭実行委員会  
委員長

橋本 遼さん  
法学部 法律学科 3年



第11回響嵐祭実行委員会  
委員長

岡本 卓大さん  
国際環境工学部  
エネルギー循環化学科 3年

### Q1 大学祭をやり遂げた感想は？

【橋本さん】 疲れました。大学祭前日からの4日間はほとんど眠れませんでした。

【岡本さん】 事故もケガもなく無事に終わってまずは一安心。やっと解放されて気が抜けました。

### Q2 今年、最も盛り上がった催しは？

【橋本さん】 ミスコンの「Ms.univ.」やダンスステージですね。「よさこい公演」が雨で屋内開催だったのは残念です。

【岡本さん】 笑い飯とレモンティーの「お笑いライブ」でしょうか。「ビンゴ大会」や、No.1のイケメンと美女を決定する「びびきの総選挙」も盛り上がりました。

### Q3 今年の特徴は？

【橋本さん】 未成年者の飲酒を避けるための許可証「アルコールパスポート」を導入しました。飲み過ぎ抑制の今年のキャッチフレーズは「あびる酒、あびる視線」です。

【岡本さん】 響嵐祭は代々、学生だけでなく幅広い年代の方に楽しんでもらっていますが、今年は高齢者のステージ参加といった工夫もあって、例年より更に客層の幅が広がりました。

### Q4 大学祭を実施するにあたり、心配だったことは？

【橋本さん】 自分たちで組み上げた野外のメインステージが壊れないかどうかが一番心配でした。ダンスサークルが約80名でダンスを披露するパフォーマンスの際には、強度的には問題ないのですが、念のためメンバーみんなで下からステージを支えていました。

【岡本さん】 一番心配だったのは雨。でも、どうにか持ちこたえて客室にも影響はなくラッキーでした。また開催1ヶ月前になって、ステージ場所の道路封鎖許可が出ないかもしれないと分かった時。びびきの祭との連携がとれなくなるため必死に調整し、どうにか警察署の許可がおりました。

### Q5 辛かったこと、苦労したことは？

【橋本さん】 委員会のIT局にいた1年生の頃から毎週3回の会議が18時から行われ、15分程度ですが参加するのが面倒で憂鬱でした。3年生で委員長になってからは、21時まで校内で話し合い、終わらなければ場所を変えて24時まで会議が続いたり。拘束時間の長さには辟易しました。

【岡本さん】 1年生の広報部に始まり、2年生では広報部長、3年生では委員長を経験させていただきましたが、部長になると毎週1回、18～22時の会議が1年間続きます。自分の時間を削るという意味では大変でした。また、163名の気持ちを一つにまとめて進めていくのが難しかったです。

### Q6 大人数のメンバーをまとめる秘訣は？

【橋本さん】 自分が1年生の頃の委員長がとても怖く、メンバーとあまり絡まないタイプの人でした。最終責任者としての役割はその人をお手本にして、みんなと仲良くなあんなの関係になるのではなく、いざという時の威厳を保ちながら全員をまとめようと考えました。おかげでみんなから「怖い」と言われ、本祭が始まるまであまり仲は良くなかったのですが、大学祭が終わる頃にはみんなとわかり合えた気がします。知り合いもたくさんできて良かったです。

【岡本さん】 どうしたらみんなで一つの目標に向かって進んでいけるか、常に考えていました。163人もメンバーがいると、目的意識が違う人もたくさんいます。特に1年生の中には、とりあえず入ってみたい、という気持ちでいる人も多いため、できるだけ行事に参加してもらおう回数を増やすために、大学ですれ違う時などに声かけなどを行ってきました。実際に参加してみれば、やはり楽しいものですからね。みんなとコミュニケーションを図ることが一番大切だと思います。

### Q7 大学祭実行委員会に入ったそもそもの理由は？

【橋本さん】 1年生の頃に見た先輩(の顔)がめっちゃカッコ良かったので、何をやるかも知らずに入りました。が、入ったらマジメなことばかりで大変でした。青嵐祭が終わって初めて、やりがいを感じられました。

【岡本さん】 ひびきのキャンパスの中では、大祭実はダントツに人数が多い人気の学生団体です。ここに入れば他学科の友達も増えて仲良くなれる、と先輩から聞いて入り、実際にその通りでした。

### Q8 大学祭実行委員会での活動を通して得たものは？

【橋本さん】 あがり症で優柔不断でしたが成長できました。企業に電話して協賛金をお願いしたり、ラジオ出演や雑誌掲載などがあつたりで、以前は毎回緊張してよく冷や汗をかいていたものです。人前で話すことがかなり苦手でしたが、委員長になってからは週3回は大勢のメンバーの前で話し、最終決断しなければなりません。経験によって自分自身が大変鍛われたと思います。

【岡本さん】 一番は3年間でたくさんの仲間ができたことです。また、163人という大人数をまとめる機会、企業など外部の方々話す機会、そしてこのような取材の機会は大学祭実行委員会で活動をしてきたからこそできた経験です。今後にもきつと役立つ貴重な経験だと思っています。

### Q9 これからの大学祭実行委員会への期待

【橋本さん】 自分達の代では実現できなかった、伝統の4日間開催に戻せるよう、後輩達にがんばって欲しいです。

【岡本さん】 今年は「北九州で一番盛り上がる大学祭、幅広い年代層の集客」というテーマで進めてきました。来年以降は北九州を超えて、国公立では福岡九州に留まらず日本一盛り上がるくらいの活躍を期待します。

## 踏み鳴らせ、 鼓動のままに よさこい公演



例年、大きな盛り上がりを見せる青嵐祭の「よさこい公演」。今年は残念ながら雨天のため体育館での開催となりましたが、北九大よさこいサークル「灯炎」をはじめ計6チームそれぞれがパワフルで見事な演舞を披露。ラストの総踊りでは圧倒的な迫力に、観客も魅了していました。



8代目代表  
経済学部 経済学科 2年  
光永 勇貴さん

7代目代表  
文学部 人間関係学科 3年  
竹田 ひとみさん

よさこいサークル「灯炎」には1～3年生、計62名が在籍していますが、3年生は今日が最後のステージ。みんなで精一杯、楽しく演じることができ、本当に嬉しく思います。よさこいは、踊っている人も見ている人も楽しくなるのが、一番の魅力。先輩達が築いてきた「灯炎」のパワーを、より大きく育てていきたいです。

## ひびきの総選挙

イケメン・美女のNo.1を決定する「ひびきの総選挙」を開催。ルックスだけではなく、教養や笑いのセンスなど総合的なポイントが争われるステージは大いに盛り上がりました。



## 421Lab.発「防犯・防災プロジェクト」が表彰

421Lab.のプロジェクトの一つ「防犯・防災プロジェクト」の2012年度の活動全般が、福岡県防犯協会連合会、及び福岡県警の連名で表彰され、大変嬉しく思います。

このプロジェクトがスタートした平成22年から活動してきた私を含め、受賞時のメンバーは約8名。「困っている人を助けたい」という思いを持ち、将来警察官や消防士を志望している学生がほとんどで、小倉南警察署や北九州市消防局の協力の下、地域の方々の防犯・防災意識を高めるための様々な活動を行ってきました。

活動のやりがいには本当に大きく、たとえば守恒小学校と安全マップを作った時は、子ども達から「楽しかった」「自分たちの街のことが分かってためになった」「何を気をつけたら良いか分かった」などの感想があり、防災・防犯意識で事故を未然に防ぐことの大切さを伝えることができました。子ども達が安全に安心して成長できるように願っています。

現在は警察官を目指して受験中ですが、このプロジェクトを通じて警察官の方々と関わることによって具体的な仕事内容が分かるなど、非常に多くのことを学ばせていただきました。

警察という場所は、困っている人や助けを求めている人が一番最初に駆けつけて来るところ。だから今後も地域の方々から頼られ、信頼を裏切らない存在になりたいと思っています。

森本奈央さん・地域創生学群

## 「地域につながる、自分をひろげる」421Lab.

北九州市立大学地域共生教育センター、通称「421Lab.」は、地域社会での実践活動を通じて、次世代を担う人材の育成を目指すとともに、本学の地域貢献活動の一翼を担っています。学生が活動フィールドである地域の課題に取り組み、地域と大学がともに成長していく社会づくりを進めています。



守恒小学校の6年生全員と一緒に校区内をまち歩きして作った「安全マップ」



校区内の危険な場所や、危ないと思う場所をみんなで再確認して事故を防ぐ



北方小学校に通う小学生が安全に帰宅できるよう、毎週1回行った「下校時見守り活動」



プロジェクトを代表して、小倉南警察署長より森本さん(中央)と吉井さんが表彰された

## 北方・ひびきの連携事業 ～キャンパス交流Day～

北方とひびきの、両キャンパス間の連携を促進しようと、平成25年度の1学期に設けられた「キャンパス交流Day」。

ひびきのキャンパスで学ぶ国際環境工学部1年生269名が、ひびきの～北方間のキャンパス間直通バス(片道約40分)を利用して毎週木曜日、興味のある科目を北方キャンパスで受講しました。

講座を担当したのは、外国語・経済・文・法の各学部と、基盤教育センター、社会システム研究科及び都市政策研究所。また、北方キャンパスの学生のために国際環境工学部が開講した講座も、北方で併せて実施されました。

ひびきのキャンパスの学生達からは、「北方の学生と交流できるせつかくの機会だから、北方で授業を受けるだけではなく、お互いがより親睦を深めることができるよう、何かあったらいいな」との感想が聞かれました。

国際環境工学部・情報メディア工学科  
小崎 祥吾 さん  
【受講科目】  
「グローバル化する経済」



国際環境工学部・建築デザイン学科  
栗原 真帆 さん  
【受講科目】  
「現代人のこころ」  
「現代の国際情勢」  
「都市と地域」



# より深く・卓越した専門性を有するスペシャリストへ 北九州市立大学大学院 [Part1]

北九州市立大学大学院には、社会人も働きながら学べる4研究科があります。Part 1では「社会システム研究科」及び「マネジメント研究科(ビジネススクール)」を紹介します。

## 【社会システム研究科】

Social System Studies

社会システム研究科は知識基盤社会を支える幅広い専門知識と国際的な素養を備えた高度な人材の養成を目的としています。博士前期課程には、現代経済、地域コミュニティ、文化・言語、東アジアの4専攻を置き、多様な教育課程を提供しています。また、さらに高度な研究能力を高めるため、博士後期課程地域社会システム専攻も設置しています。



社会システム研究科 教授  
鄧 紅 先生

本科は「学部卒業生」「留学生」「社会人」の学生で構成しています。社会人学生の中には現役の大学教授や病院関係者といった方もいて、年齢層も様々。学生の大多数は「研究者や専門家を目指す」あるいは「特定分野を掘り下げた研究を行う」といった明確な目的を持っており、社会人も多いため本科の講義はほとんど6、7限目。各々が担当教授の下で、自分の研究テーマに日夜取り組んでいます。

私の研究・指導領域は、孔子や孟子、老子などに代表される中国哲学や思想です。研究室に1～4名の学生が集まり、指定した課題本の読み合わせや、学生からの疑問提示に対する解釈、論文の修正などをマンツーマン形式で行っており、学部のような講義はほとんどありません。また、学生達の研究テーマは非常に細分化しており、たとえば大正時代のジャーナリストだった吉野作造の中国論について研究している学生がいますが、そのために使う日中を対比させた歴史のテキストなども私が作成しています。大学院ともなればどんな本を読み、どのように考えるか、という研究のメソッドを身につけることが大切になってきますので、方法論についての指導も多く行っています。

日本には中国哲学や思想の研究ができる場所はまだまだ少なく、特に本科のように漢文ではなく、中国語で中国の原典を読み哲学・思想を考えたといった本格的な研究施設は非常に希少です。今後は中国哲学や思想の魅力を含め、本科の素晴らしい特色をより多くの学生の手に届けてもらいたいと思います。

「将来は何かしたいか」そう考えた20代後半の頃、「政治家」という選択肢が浮かびました。そこで、日本で学ぼうと来日。東京で進学先を検討していたところ、母国・韓国でも大変有名な研究者である、東アジア政治思想の金鳳珍先生が北九大にいらっしゃることを知って、先生の下で学ぶことを決意しました。私の研究テーマは、日清戦争の原因にもなった韓国の農民達の革命「東学農民戦争(甲午農民戦争)」です。2年目にはロータリー一米山記念奨学金を得て、現在は論文作成に集中する毎日です。これまで金先生に付いて様々な学会などに参加したおかげで、自分の視野も随分と広がりました。前期課程の修了後は日本の別の大学の博士課程へ進み、研究を続ける予定です。

実は韓国にいた頃は、日本にあまり良い印象を持っていませんでしたが、実際に来てみると事実とは違いました。韓国で教わることで、私が現地で体験した事実の差を埋める作業は誰かがやらねばなりません。日韓の関係構築のため、北九州で尽力されている金先生の姿に私は大きな感銘を受けました。私も先生に続き、日韓政治の研究者になって、広い目と心で未来へ向けた提示ができればと希望しています。

また、「和の精神」は大変素晴らしいもので、私は日本で茶道を学んだことで自らが進む道を見出しました。しかし、茶道教室には高齢者しかいません。日本の学生は勉強よりも、お洒落や恋愛重視の方が多いように見受けられ、将来日本の国力が低下しないかと心配です。皆さんには自国の文化を大切に、勉学に励んでもらえるよう期待します。



社会システム研究科  
博士前期課程 東アジア専攻  
孔 モニカ さん

## 【マネジメント研究科】

Business Administration

北九州市立大学ビジネススクール(K<sup>2</sup>BS)は、アカデミズムに裏打ちされた「知」と経験に培われた「知」を融合した実践的なプログラムを提供する専門職大学院です。革新的な事業創造や組織変革を実現するための高度なマネジメント力を持った地域の中核的な次世代リーダーを養成しています。

専門職大学院であるK<sup>2</sup>BSは、専門的なマネジメント能力を有するリーダーを育成するという目的を持ち、そのためのプログラムを提供しています。高い問題意識と意欲を有する社会人が多く、平均年齢は30歳代後半から40歳と比較的高めです。これは、他大学のMBAコースとは大きく異なる点です。授業はディスカッションなど多彩な方法で行われます。議論は非常に活発で、学生同士で刺激合っています。

私の専門分野は経営戦略です。授業ではケーススタディを行います。特定の企業あるいは業界に関するケースを事前に読み込んできてもらい、「なぜ成功(失敗)したのか」、「このケースのポイントは何か」ということについて議論しながら掘り下げていきます。その中で経営戦略論の理論を解説し、当てはめていきます。自然科学のように唯一の解というものがあるわけではありません。多様な見方がある中で、どれがどれだけ本質に迫っているのかということを考えていきます。なぜなら、経営に関わる問題を考える上で重要なのは、表面的な現象の背後にある論理やメカニズムを自分で考察する力だと思っております。これはMBAの学生だけでなく学部生も同様ですが、テクニカルなスキルを身に付けるだけではなく、自ら思考し、現実を切り拓き、課題を解決していく力を育ててほしいと思います。

北九州には、ヒトや技術といった資源がまだまだ豊富な面白い街ですが、それぞれが結びついていないところにマネジメントの弱さを感じます。そういった資源を有機的に結び付け、今後の日本をリードするような企業が出てくることを期待しています。



マネジメント研究科 准教授  
高橋 秀直 先生



マネジメント研究科 7期生  
小谷 佳裕 さん

父が建設コンサルタントを営んでいることもあり、建設業界の動向について着目しています。海外各国の建設業に対して、日本の建設業は海外売上比率が高くなく、国内市場に依存しており、内向き志向であるように感じています。日本の建設業の海外進出に向けて何か提案できないだろうか?といった疑問から、建設業界における国際経営戦略やマネジメントを学ぶために海外留学を強く希望しています。しかしながら、海外の大学へ進学するためには語学力だけでなく、発言力も求められます。私は、留学に行くまでの下準備として、能動的に発言を求められる環境に身を置きたいと思い、K<sup>2</sup>BSに進学することを決意しました。

戦略論やマーケティングの授業で用いるケーススタディでは、「自分がこの企業のトップ、マネージャーであればどうするか?」などと、置き換えることが多いです。組織論や人材マネジメントの授業では、「あなたの会社で起きている問題を踏まえて考えなさい」といった問いかけが多く、社会経験なくして学部から進学した私は、自身で経験した部活動やアルバイトを想定して答えるしかありませんが、内容が薄くなってしまい苦労しています。周りの社会人の学生に圧倒されて、果たしてついていけるであろうかとネガティブに考える時期もありましたが、同じく周りの学生に励まされ、支えられたこともありました。地場企業のトップの方や様々な業種の学生とディスカッションする機会は大変貴重で、大いに刺激を受けています。

## 大学院インフォメーション 北九州市立大学 大学院 平成26年度入試出願期間

■ 社会システム研究科(博士前期課程)/法学研究科(修士課程)  
平成25年12月9日(月)～12月13日(金)  
【試験日】平成26年2月2日(日) 【合格発表】平成26年2月13日(木)

■ マネジメント研究科(ビジネススクール)  
平成26年1月6日(月)～1月10日(金)  
【試験日】平成26年2月8日(土) 【合格発表】平成26年2月14日(金)

■ 国際環境工学研究科(博士前期課程、博士後期課程)  
平成25年12月9日(月)～12月20日(金)  
【試験日】平成26年2月2日(日) 【合格発表】平成26年2月7日(金)

■ 社会システム研究科(博士後期課程)  
平成26年2月6日(木)～2月12日(水)  
【試験日】平成26年3月2日(日) 【合格発表】平成26年3月7日(金)

